



三島市・パサディナ市姉妹都市提携65周年記念
上映会「日系アメリカ人の歴史を知る」



歴史を知ると感謝が生まれる

～多様な日系米国人の歴史を知ってほしい～

2022年11月、米国の姉妹都市パサディナ市との交流に長年携わっているブライアン・タケダ氏が三島市を訪れました。ブライアンさんは、2020年お父様である竹田潔さんが他界した後、ショートフィルムを制作するコースに参加。潔さんが日本兵として戦時中に中国へ渡り、敗戦後シベリアに抑留されたことについて短編映画を制作しました。今回の滞在中に、順天堂大学、三島北高校、韮山高校、日大三島高校、三島市民生涯学習センターでブライアンさんの作品を含む5編の上映会を開催し、「日系米国人といえば大戦中に収容所に送られた歴史が有名だが、それ以外にも様々な苦難を乗り越えた歴史があることを知ってほしい。歴史を知ると、感謝が生まれる。ぜひ、自分のおじいさんおばあさんと話をして、感謝を伝えて」と、自身の思いを語ってくれました。



麗水市長からのビデオメッセージ

第5回

三島市、麗水市友好都市親善

MIRA中国語 スピーチコンテスト



2022（令和4）年12月4日（日）、三島市民生涯学習センターにて第5回友好都市親善中国語スピーチコンテストが開催され、麗水市長からのビデオメッセージで幕が開きました。コロナ禍での開催で、換気や消毒をこまめに行いながら、暗誦部門7人、スピーチ部門14人と多くの参加者が日頃の成果を競いました。

審査員の先生方からは、暗誦部門は「発音は、ゆっくり、はっきり、間違えるときにもハッキリ間違え、それから直すこと」。スピーチ部門は「どの参加者も内容が素晴らしかった。中級になると上に進むのが難しくなるが、キープすることが大切」と講評をいただきました。

入賞者（敬称略）

麗水市長賞 小川 莉歩 暁秀高1年

暗誦部門「大禹治水」

- 1位 小川真歩 暁秀高1年
2位 土井萌花 南高3年
3位 野田ひまり 南高3年
審査員特別賞 井上優心 南高3年
審査員奨励賞 岸田聖蘭 南高3年

スピーチ部門

- 1位 井手野祐子「困難な挑戦」
2位 澁井祥子「アジアの民族衣装」
審査員特別賞 鈴木 あやの
「異文化コミュニケーション」
審査員奨励賞 平山 竜太
「私のしあわせ」



前列 暗誦部門、麗水市長賞、スピーチ部門の受賞者
後列 向かって左から盧先生、李先生、張先生



高橋恵子さんによる「中国語のススメ」講演

高橋 恵子氏 沼津市生まれ

学生時代にNHK静岡で番組を始め、群馬テレビ局アナを経てフリーアナウンサーに。FM東京、日本テレビ、テレビ朝日などでレギュラー番組を担当した後、1993年～1995年及び2011年～2017年の2回わたって、計8年間CRI（中国国際放送局）に勤務されました。また、2017年春から工学院大学孔子学院院長を務め、現在、放送や講演を通じて、日中相互理解を深めるための活動をしながら、架け橋として多方面で活躍中です。



立春交流会「恵方巻き=Sushi Rollをつくろう」開催

1月29日（日）三島市民生涯学習センターにて、立春交流会「恵方巻き=Sushi Rollをつくろう」を開催しました。三島や近隣にお住まいのインド、中国、マレーシア、フィリピン、ペルーなど8カ国20人が参加しました。まずは玉子焼き作りから。キュウリやかんぴょう、しいたけなどの具材をきざんで酢飯の上にたっぷり盛り付け、いよいよロールに巻き込みます。



まずは玉子焼きに挑戦



具材はたっぷり！

ほとんどの人が初めてで、ちょっと苦戦しましたが、できあがりはとても美味しそうで、皆、大満足でした。今年の恵方は南南東、きっと良い年になることでしょう。



美しい国 ウクライナに平和を!

“ウクライナについて学ぼう”開催



参加者のみなさんと一緒に
(11月24日、市役所中央町別館)



北中での授業の様子 (1月30日)

ロシアがウクライナに侵攻を始めて約一年が経ちます。遠く離れた国ウクライナですが、その国を知る事で平和へ導く手伝いになるのではないのでしょうか。

14年前結婚を機に来島し、現在は市内多呂にお住まいの原アンナさんのもとへ、母のネジェリコ・マリーナさん、妹のジュリアさん、ジュリアさんの息子さん2人がウクライナ東部ドニプロから避難してきています。昨年11月24日に、マリーナさんとアンナさんをお招きして『ウクライナの今』をお話ししていただきました。また、1月30日には、三島北中学校3年生の社会科の時間に国際理解教育の一環として、マリーナさんと孫のミラン君(14歳)、アンナさんによる交流授業「ウクライナについて学ぼう」が行われました。

戦争が始まるまでは全てがあった。子供達には夢があった。今は希望が無い。ウクライナの国名は“愛する”と言う意味で、土壌が豊かで美しい国です。文化と歴史があり農産物が豊富で、石炭などの鉱物資源にも恵まれている平和な国。それが、昨年2月のロシアの軍事侵攻で180度変わってしまった。今の戦争の事だけではなく、今までのウクライナの歴史も知って欲しい。家族の命、自分の命は宝物、日本が平和である事を大切にしてください。日本人は心が広くて感謝しています。早く戦争が終わって美しい国ウクライナを日本の皆さんに見て欲しいです。等々、たくさん話をしていただきました。



マリーナさん(左)と原アンナさん

三島南高と麗水学院高級中学校 オンライン交流開催

昨年10月17日(月)、三島市の友好都市である麗水市にある麗水学院の高級中学校(日本の高校にあたる)と三島南高校の生徒が、オンラインで交流を行いました。まず南高から、中国語を選択学習している生徒が中国語で挨拶、続いて漢詩暗誦、音楽部のピアノ演奏、剣道部のパフォーマンス、箏曲部の箏の演奏がおこなわれました。麗水学院からは、日本語の挨拶、アニメ部のダンス、音楽部による歌と地方劇、ストリートダンス部のダンスが披露されました。その後、お互いの学校生活や観光スポットなどについての質問・回答が交わされ、なごやかな交流のひとつとなりました。

1時間ほどの活動交流会でしたが、両校の生徒は、日ごろ勉強している中国語・日本語をつかひながら交流し、会場は笑顔と拍手に満ちあふれていました。



講座の様子



日本語の教え方講座 開催

MIRAの開催する講座の中でも特に人気のある、日本語の教え方講座が開催されました。コロナ禍で人数制限をしたため、今年度も、9月スタートの秋コースと、1月スタートの冬コースの2コースで開催、それぞれ10人、8人が受講しました。普段何も考えずに使っている日本語を、いざ教えるとなると、これがとても難しいのですが、自分の日本語の誤りに気づくことも。皆さん、真剣に学んでいました。



James Molloy - MIRA Newsletter #34

JIMのみしまものがたり③④

三島ならではのもの

どのような要素が、「そのまちならではの」を作り上げているのでしょうか？

特産品を使った美味しい料理、歴史や建造物、風景や地域の文化などが融合したものではないかと、私は考えています。

世界中どんなまちにもその土地やそこに住む人々の文化を象徴するような特別な場所があるもので、私にとっては幼少期を過ごしたカナダのニューファンドランドの歴史ある東海岸の自然歩道が、それにあたります。

港の周りに点在する風光明媚な小さな村々をつなぐ自動車道ができるずっと以前から、北大西洋の険しい海岸線を横切るこの「歩道」は、友人や親戚、商人、医者、聖職者たちとつながる唯一の手段でした。

三島の魅力は何でしょう？

その存在なくしては語れないような、三島になくてはならないものとは？

まず始めは三嶋大社。ふわふわとした美味しいウナギに、源兵衛川をはじめまちを流れる富士山の雪解け水。それにしゃぎりや農兵節、地元が誇る箱根西

麓三島野菜、個性的なレストランやカフェ、唯一無二の楽寿園など…

私は楽寿園の年間パスポートを購入して以来、頻繁に園内を散策するようになりました。そこで、今まで見過ごしてきたものに気づき始めたのです。

楽寿園のレトロな乗り物やかわいい動物たちは有名ですが、さまざまな色や質感の木が200種あまりあることをご存知でしたか？これらの木々には色鮮やかで可愛くさえずる鳥が巣を作ったり、渡り鳥たちが立ち寄りたりしています。その数合わせて50種以上にもわたるとか。

次回楽寿園を訪れるときは、小浜池の端にたたずむ楽寿館近くの樹齢350年のいこいの松をご覧ください。園内で一番古く、とても美しい木です。



いこいの松

三島の魅力はまだまだ語りつくせませんね。皆さんなら何を思い浮かべますか？

JICA 青年海外協力隊富岡健太さん、市長表敬訪問



富岡さん（右から2人目）

JICA（独立行政法人国際協力機構）の2022年度第3次青年海外協力隊として、中米グアテマラに派遣される三島市在住の富岡健太さんが、1月末の出発を前に1月13日（金）、豊岡武士市長を表敬訪問し、その意気込みを語りました。富岡さんは、ご両親もかつてJICAの派遣隊員で、そのご両親の影響もあってかねてよりJICAで貢献したいと思っており、これまでも国内で環境問題に取り組んでいました。念願叶って2020年にメキシコに派遣が決まりましたが、新型コロナウイルス感染拡大で延期になってしまい、今般、あらためて派遣が決まったということです。グアテマラでは、首都グアテマラシティーから西へ車で4時間ほどのトトニカパン県で、環境天然資源省の県事務所に配属となり、環境教育を担当します。決して良いとはいえない治安のもと、安全には充分気をつけた上で、ご活躍されることを祈ります。

麦畑（編集後記）

- ★今年は風のように軽やかにうごいてみよう！（桜）
- ★Bird watching starts with your ears!（J）
- ★先が見えない時代を乗り越える力がだいぶついたと思う！（青）
- ★春の訪れと共に、平穏な日が世界に來ますように（明）
- ★コロナ5類へ、だからって油断禁物。遠慮近憂（S）

申込み・問合せ

- ★三島市国際交流協会（MIRA）事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ